



国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

クリスマスの煙出し人形と小人



クリスマスは、ドイツをはじめとするキリスト教国最大のお祭りです。11月に入ると、ドイツ人は様々な飾り付けをしてクリスマスを待ちわびています。去年はクリスマスツリーについてのコラムを書きましたが、今回は、ドイツの伝統的な煙出し人形と小人に関係する習慣「ヴィヒテルン」を紹介したいと思います。

クリスマスマーケットは、クリスマス四週間前の日曜日から始まり、マーケットでは、ツリーのデコレーションやクリスマスグッズ、ソーセージやグリューワインなど様々な物が売られています。マーケットに欠かせないのが、ドイツの伝統的な煙出し人形です。スモーカー人形とも呼ばれており、名前のとおり、お香の煙を口から出して、のんびりとした楽しい雰囲気を作ってくれます。使い方は意外と簡単です。空洞になっている人形の中でお香を焚くだけです。この煙出し人形の産地として特に有名なのが、エルツ地方です。ドイツ東部、ザクセン地方の山岳地帯に位置し、チェコとの国境のすぐ近くです。ザイフェン (Seiffen) はおもちゃ産業の中心地ですが、人口約2,700人の小さな町です。住民の大半がおもちゃに関わる仕事を

していると言われています。煙出し人形は長い伝統があり、国民からとても愛されている商品で、寒くて暗い冬の季節に家の中を良い雰囲気にしてくれます。興味のある方はグリームの館に行ってみてください！今年煙出し人形が売られています。可愛い形をしたミニサイズの煙出し人形です。中に入れるお香は日本のものでも大丈夫ですよ。日独のコラボレーションですね！ぜひ試してみてください。

変わった楽しプレゼント交換
ウィヒテルン (Wichteln)

ウィヒテルンとは、ドイツ語で「小人」「妖精」を表します。ドイツにも様々な民話や童話があり(グリム童話をご存知ですかね?)、小人に係るお話もたくさんあります。童話に登場するのも良い小人、悪い小人、人々の目の前に姿を現さない妖



精と、種類は様々です。一般的にウィヒテル (Wichtel) に対するイメージは、人間の近くに住んでいるけれど、普段は姿を現さず、たまに人間の物を隠したり、どこか別のところに置いたり、夜の間に仕事をやってくれていたところ。ウィヒテルンという習慣は、そのイメージと関係があります。

ウィヒテルンの方法は、状況によって変わるので、様々ありますが、一つの方法として、事前に自分の名前を書いた紙を箱に入れ、くじ引きのようにして一人ひとり紙を取り出します。自分の取った紙に書いてあった名前の人のためにプレゼントを買って、ウィヒテルンの日にプレゼントを渡します。もっと大人気でウィヒテルンをする時には、別の方法もあります。ウィヒテルンのある日に、参加者はプレゼントを一つ持ってきます。プレゼントを交換台に置いて、数字の書かれた紙をもらいます。パーティーの時に、自分の持っている数字がアナウンスされたら、交換台からプレゼントを選びます。ここで注意が一つ！自分のプレゼントは持って行ってはいけません。他の人がどんなプレゼントを持ってきてくれたか楽しみでしょう？あまり実用的でない物でもらうことも結構ありますが、楽しめるかどうかポイントです。みなさんもクリスマス会などを開くとき、やってみてくださいね！

国際交流協会

石橋駅前
グラスキャンドル
ライトアップ

平成22年度から実施している石橋駅前のキャンドルライトアップを今年も実施します。約1,000個のグラスキャンドルが石橋駅前を彩ります。

皆さまぜひお立ち寄りください！

■実施日時

12月8日・15日・22日 土曜日
時間は各日とも午後6時～9時

■問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局(生活安全課内)
☎(40)5555

※天候等の都合により中止する場合があります。事前にご了承ください。

